

# のびすく仙台 イベント報告



## 8/30 (木) グループ相談 「2歳児のイヤイヤ期」

講師：青葉区家庭健康課保健師

イヤイヤ期の対応についてお話しを頂きました。質疑応答では、日頃の困っていることについて色々な質問がでました。

講師からは、「イヤイヤは自立への第一歩」「成長の証です。」との話がありました。

他の人の悩みが聞いて共感できることもあり、自分だけではないんだと、お母さん自身も気持ちが少し楽になって安心したようでした。

### ☆対応のポイント☆

褒めるとき…安全であれば好きなようにさせてあげる。できたらたくさん褒めてあげる。

叱るとき…短い言葉で伝える。物を投げたり、頭突きをするのは子どもの表現方法でもあるが、ダメなことはしっかり目を見て、その場で伝えましょう。

## 9/13 (木) 幼稚園サロン

先輩ママ4人をお招きし、幼稚園選びや未就園児教室などについて体験談をお話ししていただきました。

後半は、お子さんの年齢ごとにグループに分かれ、情報交換や、疑問や不安に思っていることなど先輩ママも交えて話し合いました。

「とても参考になりました。」「みなさんと同じ悩みを抱えていると分かり、少し心強く思いました。」などの感想もありました。

## 9/27 (木) グループ相談「幼児食」

講師：佐藤 京子さん(管理栄養士)

幼児期は個人差も大きく、成長とともに好みも日々変わっていきます。子どもの発達や様子をみながら進め、今食べられない食材があっても「もう少し大きくなったら食べられるかな～」など、無理強いせず、気長に考えてほしいとのお話がありました。

Q：野菜が嫌いで食べてくれません。

A：無理に食べさせようとはせず、大人がそばで「おいしい～！」と言いながら食べるところを見せてみましょう。また、食事がすまなくてもいつでも食べられる環境をつくり、食べたら褒めてあげましょう。野菜スープなどはスープのなかにも野菜の成分が入るので、栄養もとやすいですよ。



## 10/4 (木) ウェルカムサロン②

### 託児付料理教室「宮城の郷土料理」

【共催】仙台市ガス局

ウェルカムサロン2回目は、「宮城の郷土料理」をつくりました。はじめて託児をするお子さんがほとんどで、お母さんもお子さんも緊張気味。いざ、料理が始まると、和気あいあいと楽しそうな雰囲気、完成した料理もとても美味しそうでした。

「仙台の情報を食を通じて知れたのでよかったです。」「すごくおいしかったので、今度作ってみます！」など嬉しい感想もあり、お母さんたちにとって友だちづくりのいい機会になったようでした。

## 家族のかたち 「特別養子縁組編その4 (番外編)」

毎年、10月は「里親月間」です。「里親」という言葉を聞いたことはありますか？様々な理由で親と一緒に暮らせない子どもたちが、全国に約45000人います。そのうち、里親家庭で過ごす子どもは5190人、施設で暮らす子どもの約15%程度です。(データの出典 厚生労働省 平成29年社会的養護の現状について)

里親には4種類あり、養子縁組里親だけでなく、子どもに必要な期間、家庭に受け入れて育てる養育里親があります。(また専門里親、親族里親があります) 血のつながりがあってもなくても、温かく見守る大人の存在は、子どもの生きる道を支えています。具体的にどんなことをするのだろう、と関心を持たれた方は、住民票のある児童相談所へ問い合わせをしてみてください。

〔児童相談所全国共通ダイヤル>189〕

子どもの遊び場づくりをしている3児の母親  
佐々木啓子(すず)

参考HP ハッピーゆりかごプロジェクト <http://happy-yurikago.net/>

日本財団による、特別養子縁組・里親の普及啓発のためのHP

